

=====

ふくしま

2015. 8. 20

## 復興支援フォーラムニュース No. 100

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 ([tkonno67@gmail.com](mailto:tkonno67@gmail.com))

=====

### 第97回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

8月6日、第97回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。

丹羽真一氏（福島医大・会津医療センター 精神医学講座特任教授）から、「相双地域におけるメンタルヘルスケアの取り組み」をテーマに、報告をいただきました。猛暑のなか、29名が参加して、熱心な質疑応答が繰り返されましたが、以下は、文書提出いただいたご意見等です。

~~~~~

★ 震災被災者のメンタルヘルスケアに関する、県内実施機関及び支援活動の現状がよく解りました。（K.F）

★ 私も震災直後、眠れなくなり福島市内の精神科にかかりました。精神科と言うと偏見もあり、なかなか行きにくいですよ。もっと行きやすいように（気軽に）できればいいかなと思いました。あと、マスコミなどの報道、市民団体が流す放射線の過度な不安情報などに対するストレスの調査をして欲しいです。（Y.K）

★ 相双地域では、医療・福祉の基盤が大きく壊れたときいていましたが、その具体的な状況を知ることができてよかったです。保健・福祉から医療に至るまで、幅広い領域で、新しい精神科に係るシステム作りに尽力されているお話に感銘を受けました。（H.S）

★ 震災後から現在までの相双地区の精神科医療に関して、理解することができました。精神科病院が新たに地域に受け入れられてもらい難いという実状も初めてわかりました。また、県内と全国との色々な比較によって、どういう点が福島県、県内地域で特徴があるのかが理解し易かったです。（Y.M）

★ 災害の後のこころの復興を、より早く可能にする為にも、メンタルヘルスケアの分野でも危機管理レベルを高めることの大切さがよく分かりました。また、今後の確立のために、丹羽先生の実践からの教訓が活かされることを願います。（M.M）

★ 南相馬市でこころの相談を担当しているが、今回の講演で全体を把握することができた。気になったことは、震災により全国に分散された800人からの人々が、今どうしているのか。時々、他の病院に入院されている方が、先生（担当されていた）の声を聞きたいと電話をよこすことがある。胸が痛む。（H.O）

★ 多くのデータを示して頂き、難しい問題にもかかわらず、分かりやすく聞くことができました。できれば、パワポの資料も頂きたかった。（M.O）

★ レーザーポインタを活用されると、スライドの注目点が、すぐに分かって理解の助けになると思います。（Y.I）

★ 「提言」の別刷をいただきましたが、これをもっと発信して、広めていったほうがよいと思いました。（Y.I）

~~~~~  
【予告】第99回フォーラム 2015年9月3日（木）18:30～20:30

「仮設住宅の実態について」

報告者：鎌田 光利 氏（大玉村安達太良応急仮設住宅自治会長）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」大活動室1  
~~~~~

【予告】第100回フォーラム 2015年9月17日（木）18:30～20:30

「復興の現段階と今後の課題」（仮題）

報告者：真木 實彦 氏（福島大学名誉教授）

齊藤 紀 氏（医師）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」大活動室1  
~~~~~

（目標の第100回の開催に漕ぎ着けました。

本フォーラムは震災の年の2011年11月29日に第1回として開始して以来、4年近く、  
毎月2回の定例会を継続して参りました。

特に報告者の皆さまには、謝礼のみならず、交通費をも、お支払することなく、まさに  
自弁で協力していただき、感謝に堪えません。また参加していただいた、のべ600名以上  
の皆さんにも感謝しています。

市民的協働による復興を目指して、各界のご活躍の皆さんからの実態に基づくご報告は、  
復興を大きく支援するものと考えています。

今後は、定例的な開催は困難なため、随時、必要とされるテーマについて、開催してい  
くことにしたいと思っています。

今後とも、皆さまのご協力をお願いします。）